

DC-AC インバータのパワーセーブモードについて

2017年4月発行

株式会社 電菱

1：はじめに

DC-AC インバータには待機中の消費電力を抑えるパワーセーブモード機能が搭載されています。本書では本機能について説明します。

2：パワーセーブモードが搭載されている機種

SP-700	SP-1000	SP-1500	SP-2000	SP-3000	SP-4000
SD2500	SD3500	TS-1500	TS-3000	TN-1500	TN-3000
SK700	SK1000	SK1500	SK2000	SK3000	
ST1000	ST1500	ST2000	ST2500		

3：パワーセーブモードの役割

DC-AC インバータの電源を ON にしていると、負荷を使用していなくても自己消費電力(自己消費電流)がかかるため、バッテリー電力を消費します。パワーセーブモードに設定した場合、通常よりも待機中の消費電力(消費電流)が減り、バッテリー消費を低減させます。自己消費電力(自己消費電流)については製品の仕様表をご参照ください。

4：パワーセーブモードの注意点

4-1. パワーセーブモードでは、設定値以上の負荷を動作させようとした場合にのみ、インバータから出力を開始します。設定値はお客様にて選択できます。**設定値以下の負荷を動作させることはできません。**負荷によっては設定値で動作するもの動作しないものもあります。ご使用の負荷に合わせて調整してください。

例：SP-700-112 を使用して 110VA(最大)に設定した場合

110VA 以上(負荷消費電力)：使用可能

110VA 未満(負荷消費電力)：使用不可

4-2. パワーセーブモードを設定しても、**DC-AC インバータの自己消費電力はゼロにはなりません。**定期的にバッテリーの充電状態をご確認ください。

5：パワーセーブモードの設定方法

設定方法は製品に添付された各取扱説明書をご参照ください。